

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
感染免疫学	NSF31_001	必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
藤井 充	306	mitsuru.fujii	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	医療技術が著しく進歩した現在でも感染症は医療における重要課題であり、微生物の種類と特徴、宿主側の防御機構等を学習することは重要である。ヒトと微生物との相互関係、感染症の原因となる微生物の種類、人体が引き起こす免疫応答の基本的現象やワクチン・化学療法剤・薬剤耐性菌・新興及び再興感染症・感染予防策等について遠隔授業を通して理解することを目的とする。				
学習上の助言	日頃から感染症に関するニュースに関心を持ち、分からないことは自己学習すること				
教科書	新体系看護学全書 疾病の成り立ちと回復の促進② 微生物学・感染制御学/メヂカルフレンド社				
参考書	必要に応じて講義の中で紹介する。				
学生が達成すべき行動目標					
①	感染症の原因となる病原微生物の特徴を理解し、違いについて説明することができる。			関連卒業認定・学位授与方針 NS(1)	
②	感染症に対するヒトの防御機構と免疫の役割を理解し、説明することができる。			NS(1)(2)(3)	
③	感染症の治療、予防法（ワクチンなど）について概略を説明することができる。			NS(1)(2)(3)(4)	
④	消毒法・滅菌法の原理を理解し、標準予防策などについて説明することができる。			NS(1)(2)(3)(4)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	微生物の分類・性状について学習する（その１） 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、微生物の種類を理解すること。		4
2	微生物の分類・性状について学習する（その２） 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、微生物の種類ごとの特性を理解しておくこと。		4
3	感染成立の要因について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、感染成立の３条件を整理しておくこと。		4
4	「免疫の仕組み(1)」：免疫の主な機能、自然免疫と獲得免疫等免疫システムについて学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、自然免疫と獲得免疫の違いを理解しておくこと。		4
5	「免疫の仕組み(2)」：抗原と抗体、液性免疫と細胞性免疫について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、液性免疫と細胞性免疫の大きな違いを理解しておくこと。		4
6	「免疫の仕組み(3)」：感染免疫と免疫による予防について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、感染症における免疫応答を学習しておくこと。		4
7	感染症の分類について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、主な感染症をみておくこと。		4
8	細菌と感染症について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、細菌による感染症に目を通しておくこと。		4
9	ウイルスと感染症について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、ウイルスによる感染症にどのようなものがあるか見ておくこと。		4
10	感染に関する法律、施策について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、感染症法に目を通しておくこと。		4
11	医療機関における感染制御について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、院内感染対策として重要なことを整理しておくこと。		4
12	感染症に関する滅菌、消毒について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、消毒と滅菌の違いを理解しておくこと。		4
13	感染症に関する予防接種・ワクチンについて学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、予防接種の種類を調べておくこと。		4
14	化学療法について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義範囲の教科書を読み、主な化学療法について目を通しておくこと。		4
15	新型コロナウイルス感染症について学習する。 意見交換：授業時間内に実施 フィードバック：授業時間内に実施	同時双方向型授業	新型コロナウイルス感染症について現状を理解しておくこと		4
試	定期試験				

総合評価割合 (%)		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	20	100
	思考・推論・創造する力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	マルチプルチョイス及び筆記試験で評価を実施する。				誤りが多かった問題について解説を配布する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	講義に出席し、課題を提出することを評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
・同時双方向型授業は、Teams を利用して実施する。通信量が過大にならない工夫をするが、通信容量が確保できる Wifi 環境を確保することが望ましい。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢の変化により再度シラパスの変更がありうるので注意すること。 教員の実務経験：公衆衛生医師として、厚生労働省、保健所等に 40 年間勤務 実践的授業の内容：単なる教科書の世界ではなく、看護職として現場で経験する可能性があることを取り上げ理解を深める。							